



NPO法人育て上げネット

再犯防止推進計画等検討会 ヒアリング
育て上げネットの取り組みについて

認定NPO法人育て上げネット
理事長 工藤 啓

自己紹介

名前：工藤 啓（くどう けい）

- ▶ 1977年 東京都福生市生まれ
成城大学中退、Bellevue Community Collage卒業
- ▶ 認定NPO法人育て上げネット理事長
金沢工業大学客員教授/日本大学・東洋大学非常勤講師
- ▶ 著書『無業社会』『大卒だって無職になる』
『NPOで働く』ほか
- ▶ その他
東京マンガレビューアーズレビューアー
長男、次男、三男四男（双子）の父親
『双子妊娠がわかったときによむ本』



連絡：kudo@sodateage.net or Facebook/Twitterなど

法人紹介

育て上げネットが目指すもの

Vision

あるべき社会像

すべての若者が社会的所属を獲得し
「働く」と「働き続ける」を実現できる社会

※社会的所属とは：「安心」を実感し、「挑戦」できる関係性を有する場

Mission

果たすべき使命

若者と社会をつなぐ



若者支援事業



教育支援事業



学習支援事業



保護者支援事業



再犯防止領域における
育て上げネットの取り組みについて

[1]アウトリーチ：矯正教育施設の「中」と「外」をつなぐ

- ▶ 少年院の中での活動：学習支援、IT講習、キャリア講習、その他
- ▶ 少年鑑別所の中での活動：出所/出院後の情報提供、その他

[2] 出院後の支援について

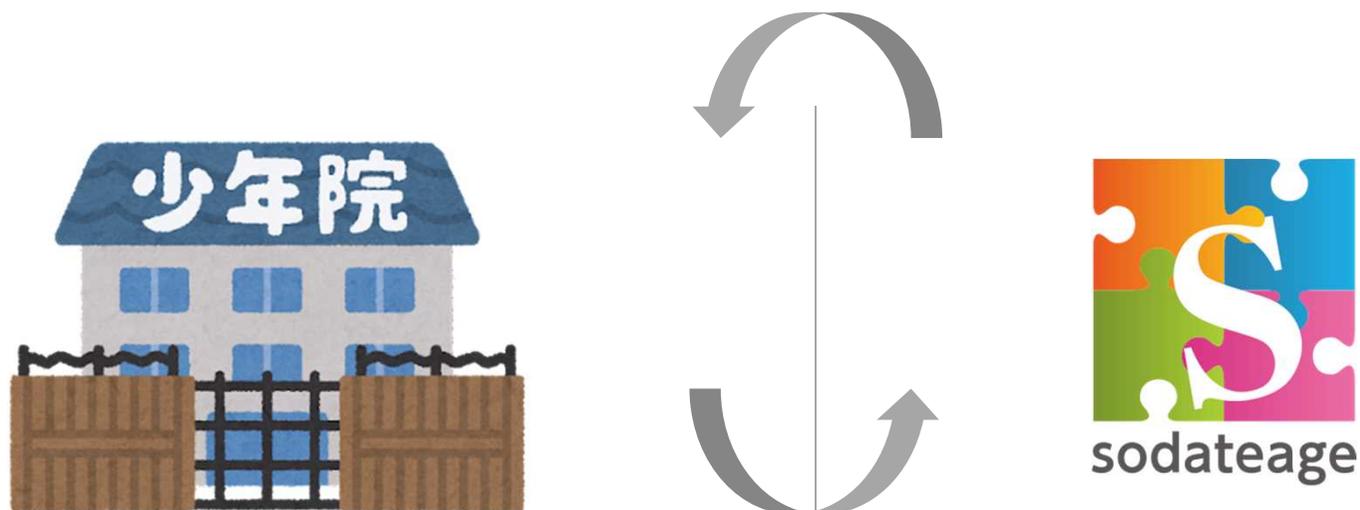
- ▶ 食糧・生活用品等の給付
- ▶ つながり続けるための「場」と「ひと」の支援
- ▶ 就労支援：「働く」と「働き続ける」への伴走支援

[3] 応援者・支援者の拡充

- ▶ スタディツアー等を通じた「知る」機会の提供
- ▶ オンライン・コミュニティ/助成金等を通じた資金調達
- ▶ 情報発信・メディアを通じた「問題の社会化」の取り組み

[1]アウトリーチ: 矯正教育施設の「中」と「外」をつなぐ

- ・少年院の中での活動: 学習支援、IT講習、キャリア講習、その他
- ・少年鑑別所の中での活動: 出所/出院後の情報提供、その他



定期的に活動している少年院

・多摩少年院 ・愛光女子学園 ・交野女子学院 ・茨城農芸学院

[3] 応援者・支援者の拡充

- ・スタディツアー等を通じた「知る」機会の提供
- ・オンライン・コミュニティ/助成金等を通じた資金調達
- ・情報発信・メディアを通じた「問題の社会化」の取り組み



少年院を出院した子どもたちに寄り添い、更生自立を支え続けるプロジェクト

ソーシャルグッド

♡ お気に入り解除する

◀ シェアする

▶ 埋め込み

少年院を出院した子どもたちに寄り添い、更生自立を支え続けます。自立のための道は長く、時間がかかります。私たちは少年たちが必要とする時間を、必要な分だけ彼らに寄り添いながら、彼らの歩みを支えています。未来を担う子どもたちの更生自立をともに支えてくださる仲間を募集します。

メンバー
128人

今すぐ参加する

『少年院に戻らないために』
～ 私たちにできることを考える～
7月27日(月) 20:30-22:00
新公益連盟

NPO法人なんとなかお共創代表 吉田誠人
認定NPO法人育て上げネット理事長 工藤啓
一般社団法人シェアリングエコノミー協会 新井博文 (少年院出院者)
フリージャーナリスト 有馬知子
法務省矯正局 小山定明

Column 5
少年院における修学支援
～認定NPO法人育て上げネットの取組～
育て上げネット
認定特定非営利活動法人 育て上げネット 理事長 工藤啓

私たち、認定NPO法人育て上げネットは、全ての若者が社会的所属を獲得し、「働く」と「働き続ける」を実現できる社会を目指し、若者と社会をつなぐ活動をしています。無業の若者の就労支援から始まり、主に高校と連携した教育支援、子どもたちの学びと生活を支える支援、そしてご家族への支援活動へと幅を広げています。

今から約10年前、八王子少年鑑別所の少年に社会的なサポートの存在を伝える機会をいただいたことをきっかけに、矯正教育分野の関係者と意見交換するようになりました。私たちの支援現場にも、少しずつ少年たちが来るようになりました。

2015年(平成27年)の新少年院法及び少年鑑別所法の施行もあり、多摩少年院から修学支援の一つとして少年に対する個別学習支援のお話をいただきました。これまで実施していた、少年院を出院した少年の支援に加え、在院中の少年に関わらせていただける大変貴重なお話でした。

育て上げネットのスタッフによる学習支援の様子
【写真提供：多摩少年院】

<https://community.camp-fire.jp/projects/view/73714>

課題について

[1] 資金調達の難易度が高い

一般的な寄付や助成のテーマ対象になりづらく、民間でのチャレンジでの成功事例を公共に活かすプロセスにおける資金調達がしづらい

▶ 法務省や少年院等とともに資金調達がしやすい環境・関係づくり

[2] 担い手となる支援者の育成課題

援助職の領域としての認知不足および、関わりづらさのある領域のため個人背景への配慮と現場の不足のまま育成していかなければならない

▶ 法務教官の現場研修に民間の援助職も参加できる取り組み

[3] 応援者／支援者の応援が難しい

加害者と被害者の存在を考えたとき、関心があっても声を出して応援や支援がしづらい領域

▶ 公的な枠組みのなかで「指定応援者」のように、応援する役割を担っている状況をうまく作る

本日お聞きくださっている有識者のみなさまからも応援をお願いいたします



少年院を出院した子どもたちに寄り添い
更生自立を支え続けるプロジェクト

少年院を出院した子どもたちに寄り添い、更生自立を支え続けるプロジェクト
クト
ソーシャルグッド

お気に入りを解除する シェアする 埋め込み

少年院を出院した子どもたちに寄り添い、更生自立を支え続けます。自立のための道は長く、時間がかかります。私たちは少年たちが必要とする時間を、必要な分だけ彼らに寄り添いながら、彼らの歩みを支えていきます。未来を担う子どもたちの更生自立をともに支えてくださる仲間を募集します。

メンバー
128人

今すぐ参加する

<https://community.camp-fire.jp/projects/view/73714>

すべての若者が社会的所属を獲得し、 「働く」と「働き続ける」を実現できる社会



若者と社会をつなぐ